知的障がい特別支援学級　自立活動　学習構想案（個別）

題材名「自分の気持ちを伝えよう」

日　時：令和〇年〇月〇日（〇曜日）

第〇校時

〇〇：〇〇～〇〇：〇〇

場　所：教室名

指導者：教諭　〇〇　〇〇

１　児童生徒の実態と指導目標

1. 児童生徒の実態（２年生）

着替えや食事、排泄には支援を要しない。見通しのもてる活動には集中して取り組むことができる。音声言語は不明瞭で、発声や指さし、身振りやしぐさ、絵カード等でコミュニケーションをとろうとするが、何を伝えたいのか曖昧なことが多い。集団での学習場面において順番を待つなどのルールや決まり事を守ることが難しい。自分の気持ちや思いを一方的に通そうとする場面がある。

（２）実態の整理と中心的課題

|  |
| --- |
| 学習上または生活上の得意なこと好きなこと、積み上げてきたこと、困難さ（全ての項目が埋まらなくてよい）、（中心的な課題には★をつける） |
| １　健康の保持（日常生活面、健康面など） | ~~・健康状態は良好で、生活のリズムは確立している。~~【良さ】 |
| ２　心理的な安定（情緒面、状況の理解など） | ・新しい場所や活動には不安になりやすく、積極的に取り組むことはあまり見られないが、見通しがもてるようになると自分から取り組むことができる。・自分の思い通りにならないと情緒が不安定になり、混乱する場合がある。 |
| ３　人間関係の形成（人とのかかわり、集団への参加など） | ・特定の教師とのかかわりが中心である。・集団から孤立していることが多い。・友達と協力して活動することが難しい。 |
| ４　環境の把握（感覚の活用、認知面、学習面など） | ・絵カードに強い興味を示すなど視覚優位の側面が見られる。 |
| ５　身体の動き（運動・動作、作業面など） | ~~・動作模倣ができる。~~【良さ】~~・粗大運動などの、運動機能に顕著な課題は見られないが、滑らかな動作が難しく、ぎこちなさや不器用さが見られる。~~【日常的な指導】 |
| ６　コミュニケーション（意思の伝達、言語の形成など） | ~~・音声言語が不明瞭なときがある。~~【まだ】★発声や指さし、身振り等で自分の要求を伝えようとする。・音声言語による簡単な指示を理解することができる。 |
| 性格、行動特徴、興味関心など | ・アニメや漫画等に興味関心があり、長時間集中して見ることができる。 |

**本人の良さや、課題ではあるがすぐに取り組まずに見送るべきこと、教科や日常生活の中で取り組めること等は見え消しをして、【　】に本題材で取り扱わない理由や指導する場面を簡潔に書き込むようにする。**

（３）指導目標と指導内容

|  |  |
| --- | --- |
| 指導目標 | 【長期目標】教師や友達からの助言等を受けながら、落ち着いて順番を守ることができる。【短期目標】友達と協調的な動作をし、友達に伝えたいことを伝えることができる。 |
| 指導内容 | ア　学習場面で、他者の助言を受けながら、情緒を安定させる。イ　学習場面で、見通しをもち、順番を守ることを意識する。ウ　友達を意識して協調的な動作をする。エ　状況に合わせながら、友達に伝えたいことを、絵カードから選択して伝える。 |

２　題材について

1. 題材における指導目標

自分の気持ちを選択肢から選んで、言葉で伝えようとすることができる。

1. 題材観

　　　本題材では、「２心理的な安定」の「(２)状況の理解と変化への対応に関すること」、「３人間関係の形成」の「(２)他者の意図や感情の理解に関すること」、「(３)自己の理解と行動の調整に関すること」、「(４)集団への参加の基礎に関すること」、「６コミュニケーション」の「(５)状況に応じたコミュニケーションに関すること」を関連付けて取り組む。

本題材で扱う自分や他者の『気持ちの理解』については、生徒が今後、良好な人間関係を築いていくために必要な力と考える。前期には、小集団で簡単なゲームを行うことで、友達や教師との安心したかかわりの中で情緒を安定させ、基本的なコミュニケーションを体感しながら順番を守ることが意識できるようにした。後期は、本題材で自分の気持ちを考える学習を通して、個々の実態に即しながら少しずつ自分自身の言動を調整する力につなげていく。その際、表情への注目を促したり、場の状況における気持ちを考えたりする活動を通して、状況に合わせながら気持ちを言葉で表出する経験を増やし、同じクラスの友達と学び合いながら、良好な人間関係の素地を育んでいきたい。

自立活動における本題材での学びを教科別の指導における学習や人権教育、道徳教育等とも関連させるとともに、日々の学校生活での様々な場面で般化した姿として見られるよう、関係する職員間での情報共有も大切にしていく。

（３）　題材計画

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 次 | 題材における指導内容 | 授業時数 |
| １ | ・自分の気持ちについて考える。・自分の言動について振り返る。 | ２ |
| ２ | ・気持ちの言葉を増やす。・様々な場面での気持ちをあらわす言葉を知る。 | ４ |
| ３ | ・先生に自分の気持ちを伝える。・友達に自分の気持ちを伝える。 | ２/６本時 |

３　本時の学習

1. 展開（目標を含む）

|  |  |
| --- | --- |
| 本時の目標 | 自分の気持ちを選択肢から選んで先生に伝えることができる。 |
| 過程 | 時間 | 学習活動 | 手だて及び指導上の留意事項（学習活動の目的・意図、方法、教材・教具等） |
| 導入 | 10分 | １　どんな気持ちクイズをする。写真に写っている教師の表情を見て、その気持ちに合う言葉を選ぶ。 | ・様々な場面（喜怒哀楽）の写真を提示し、教師の表情をおおげさにし、気持ちを読み取りやすいようにする。・選択肢の絵カードには、気持ちを表す言葉とその言葉を表すイラストも添える。 |
| 展開 | 30分 | ２　写真を見て、自分の気持ちを考え、伝える。1. 写真を見て、その時の自分の気持ちに合う言葉を選ぶ。
2. 選んだ言葉を、自分の言葉で教師に伝える。
 | ・気持ちを読み取りやすい写真を選んで提示する。写真を見て、その時の自分の気持ち伝えよう＜評価＞（絵カード、言動）1. 自分の気持ちに合う言葉の絵カードを選んでいる。
2. 絵カードの文字を読んで教師に伝えている。

・選択肢の絵カードには、気持ちを表す言葉とその言葉を表すイラストも添える。・生徒の発語のあとに、教師が明瞭な発音で同じ言葉を繰り返す。 |
| 終末 | 10分 | ３　本時を振り返る。（自己評価）　 | ・本時を振り返って、ワークシートに自己評価を記入するよう促す。・本時の学習でできていた部分、難しかった部分等教師の気づきを伝える。 |

1. その他

〇場の設定

|  |
| --- |
| 　　　　　※別の学習電子黒板BさんAさん黒板 |

〇ICT活用計画

・ｉＰａｄ：一人一台端末

・電子黒板